

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学Ⅱ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	竹内 法子
授 業 概 要					
<p>人体の基本的な構造および生体の機能や仕組みの要因や現象など、いわゆる生命現象を知る科目である。器官を系統に分けて、その構造形態と生体機能、恒常性の維持に関する内容を解説する。マクロ・ミクロの両面からアプローチして解説する。</p> <p>緻密で精妙な生体構造と機能の基本的な特性、病態との関連性についても解説する。</p> <p>生理機能検査学をはじめ、発展的内容を含む科目の基礎となる知識を修得する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺や気管支など呼吸器系の構造と形態について、その特徴を理解し模式図を用いて説明できる。</li> <li>・口腔や消化管とその上皮、肝・胆・膵など消化器系の構造と形態について、その特徴を理解し模式図を用いて説明できる。</li> <li>・呼吸器系の機能、ガス交換とガスの運搬、呼吸の調節について、理解し説明できる。</li> <li>・消化器系の機能、消化管運動と消化腺の分泌、消化と吸収、消化器系の調節、代謝と栄養について、理解し説明できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	身体の構成：体形の概要(身体の区分、体内の腔所、身体の断面と方向)				竹内 法子
2	：人体の構成単位、細胞の機能				
3	：組織の種類(上皮組織)				
4	：組織の種類(支持組織、筋組織、神経組織)				
5	個体の発生：発生、受精・妊娠・分娩				
6	呼吸器系：呼吸の作用、ガス交換、呼吸調節				
7	：気道の構造と機能①(鼻、鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭)				
8	：気道の構造と機能②(気管、気管支)				
9	：肺の構造と機能、胸腔、縦隔				
10	消化器系：消化管の構成と組織構造				
11	：消化器の構造と機能①(口腔、咽頭、食道、胃)				
12	：消化器の構造と機能②(小腸、大腸、肛門)				
13	：消化器の構造と機能③(肝臓、胆嚢、膵臓、腹腔)				
14	：消化管運動、消化腺の分泌、排便				
15	：消化と吸収、代謝および栄養				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び参考書を基本に配付資料も加えて授業を行う。</li> <li>・配付資料は内容を理解して授業及び自習に活用する。</li> <li>・実施の講義内容を十分に復習し、理解を深めること。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを隔回で行う。</li> <li>・定期試験(70%)及び小テスト(30%)により総合評価する。</li> <li>・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。</li> <li>・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。</li> </ul>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
人体の構造と機能 第5版	内田さえ、佐伯由香、原田玲子	医歯薬出版株式会社			
ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂出版			
標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能	岩谷良則	医学書院			
〔参考書〕					
最新臨床検査学講座 解剖学	秋田恵一、星治	医歯薬出版株式会社			
最新臨床検査学講座 生理学	奈良信雄、和田隆志	医歯薬出版株式会社			
配付資料					